

科目名	工芸技法論			
授業形態	講義	学年	2	
開講時期	2022年度 前期	単位数	2	
担当教員	井波 純			
内容および計画	<p>日本の工芸は長い歴史の中で培われ、その精神は現代においても技術大国ニッポンとして世界中の注目を集めている。しかしながら、現在、各地での伝統工芸技術は需要と供給のバランスが崩れ後継者の確保も難しく継続が困難なものも少なくない。この授業では漆芸、木竹工、陶芸、染織、金工等から、卓越した技術を持つ重要無形文化財保持者（人間国宝）と呼ばれる作家や工芸を支える道具を造る職人などの映像を通し、各素材の基礎技法と日本の文化意識について学ぶ。</p> <p>授業計画に記載されている以下の重要無形文化財技術保持者や保持団体の映像をもとに技法、背景について解説する。（各作家は授業の進行状況により変更する場合があります）</p>			
1	<ul style="list-style-type: none"> ・漆芸 授業ガイダンス 漆芸の基本技法について			
2	<ul style="list-style-type: none"> ・漆芸 増村益城の技法の技法他			
3	<ul style="list-style-type: none"> ・漆芸 音丸耕堂の技法他			
4	<ul style="list-style-type: none"> ・漆芸 大場松魚の技法他			
5	<ul style="list-style-type: none"> ・漆芸 漆芸を支える道具 吉野紙（漆漉し紙）の製造について、漆塗り刷毛の製造について			
6	<ul style="list-style-type: none"> ・漆芸 磯井正美の技法他			
7	<ul style="list-style-type: none"> ・木竹工 大野昭和齋の技法他			
8	<ul style="list-style-type: none"> ・陶芸 陶芸技法の基礎 金城次郎の技法他			
9	<ul style="list-style-type: none"> ・陶芸 小鹿田焼技術保存会について他			
10	<ul style="list-style-type: none"> ・陶芸 色鍋島今右衛門の技法他			
11	<ul style="list-style-type: none"> ・陶芸 酒井田柿右衛門の技法他			
12	<ul style="list-style-type: none"> ・染織 染織技法の基礎 小宮康孝の技法他			
13	<ul style="list-style-type: none"> ・染織 宮古上布保持団体について他			
14	<ul style="list-style-type: none"> ・金工 玉川宣夫の技法他			
15	<ul style="list-style-type: none"> ・金工 角谷一圭の技法他			
教科書				
	タイトル	著者名	出版社	発行年

使用しない

参考書	必要に応じて資料を使用、配付する
------------	------------------

成績評価

評価方法	割合(%)
出席状況・受講姿勢（授業中提出課題含む）	50
レポート課題	50

講義の進め方により一時限に2名紹介する場合もある為、取り上げる作家についてその都度変更する場合がある。また、夏期集中講義にて工芸技法論演習受講希望者は先修授業として受講する事が望ましい。

学習到達目標	様々な工芸技法を知る事により、日本の伝統的な工芸とモノづくりに対する理解を深める。
先修条件	
実務経験	実務経験あり：会津地域を代表する工芸である漆芸技法にウエイトをおきながら様々な素材を軸とした各工芸技法について、広く講義を進めていくが、漆芸に関する実務経験をもとに、技法解説において実際の制作例や産業と工芸とのかかわりについてより理解を深めることに努める。
その他	工芸技法論演習受講予定学生は、演習内容の理解を深める為、本講義の受講が望ましい。